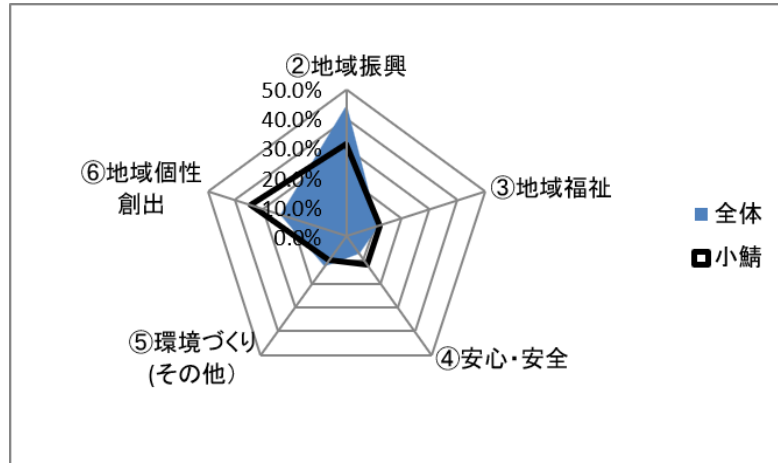


小鯖地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和7年度)

■地域の情報

地域人口	3,922人	自治会数	23
世帯数	1,655世帯	自治会加入率	84.3%

※数値は、令和8年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	7,518,000 円
交付金決算額	7,192,757 円
その他収入	510,761 円
交付金決算額／配分額	95.7%

各分野の決算

①協議会運営	5,330,789 円
②地域振興	700,727 円
③地域福祉	266,111 円
④安心・安全	262,154 円
⑤環境づくり(土木工事)	円
⑤環境づくり(その他)	225,650 円
⑥地域個性創出	918,087 円
決算総額	7,703,518 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

地域住民及び各種団体が、連携・協力して、自然豊かで安心して住み続けられる地域づくりを進める。

■総括

第4次地域づくり計画も3年経過となり、重要な取り組みはほぼ順調に進めることが出来た。しかし、地域住民の高齢化及び少子化は、待ったなしで進んでいる。担い手や後継者の不足は深刻な課題である。事業へのボランティア参加が目に見えて減少している。次年度からの取組事業は、まず部会で取り組み方を検討し進めていく計画である。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局人件費、事務費
② 地域振興	地域活性化、地域情報伝達デジタル化、広報誌発行
③ 地域福祉	ボランティア福祉タクシー、生き甲斐づくり支援、見守り配食支援、助け合いの仕組みづくり支援、敬老会開催支援、子育てサロン支援
④ 安心・安全	地域安全・防犯対策、防犯灯維持設置補助、交通マナーアップ向上、小鯖っ子見守り隊、挨拶運動推進、自主防災推進、避難時必要資材充足支援
⑤ 環境づくり	有害鳥獣対策、野良猫対策、清掃活動推進、旧萩往還道整備、鳴滝公園プール整備、奉仕の日合同作業支援
⑥ 地域個性創出	小鯖夏まつり支援、小鯖ふるさとまつり支援、複合拠点施設設置推進、大内・小鯖教育圏地域教育支援、鳴滝河川プール管理補助、上下水道設置推進・若者の働く場所確保推進、さばろっち活動、担い手確保促進

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	複合拠点施設設置推進事業	決算額	0円
	目的	豊かで安心して住み続けられる小鯖を創造するため、自治会及び各種団体と連携し、将来の小鯖に必要な機能を備えた複合拠点施設の設置を目指し検討する。		
	実施内容	複合拠点施設設置検討委員会で検討を行い、拠点施設整備の「要望書」を市へ提出した。		
	実施時期	「要望書」を5月に提出した。		
	参加人数	自治会、協議会、地域住民等の意見を集約した。		
	成果	「要望書」の回答を市から7月に受け、第1候補地として要望した場所が設置場所として困難であることから引き続き協議を行うこととなった。		
	評価	自治会や地域団体へのアンケートやワークショップを行い地域の意見として「要望書」を提出することが出来た。		
	今後に向けて	次期総合計画に盛り込まれるよう市と引き続き協議を行う。		
②	事業名	担い手確保促進事業	決算額	148,912円
	目的	地域づくりの新たな担い手の確保・育成		
	実施内容	8月末実施の地域活性化事業「ワイサバ」活動支援と11月のふるさとまつりにおける「お祭り盛り上げ隊」活動への担い手確保の取組を実施した。		
	実施時期	8月及び11月		
	参加人数	支援担い手「ワイサバ」20人、「お祭り盛り上げ隊」10人		
	成果	それぞれのイベントで新たな支援者の確保が出来た。		
	評価	それぞれ継続して行われる事業のため新たな支援者が増加するきっかけとなる取組が出来た。		
	今後に向けて	支援者を増やしイベント等に参加することで、地域づくりに関心がある人を増やしたい。		
③	事業名	自主防災推進 災害対策事業	決算額	115,084円
	目的	防災意識の向上を図る。		
	実施内容	小鯖地域の指定避難場所である「小鯖小学校体育館」での避難所開設・運営についての研修(机上及び実地)を行った。		
	実施時期	6月及び11月		
	参加人数	6月38名、11月25名		
	成果	体育館を避難所に想定したHUG訓練及び体育館で避難者が来た場合を想定した訓練を行った。		
	評価	参加者が真剣に取り組み防災に対する認識を深めることが出来た。		
	今後に向けて	自主防災組織体制の見直しとともに、避難所運営等の実働訓練を計画したい。		